

【各学年のグランドデザイン】

第1学年

何ができるようになるか

○各教科等で育成する資質・能力

- 各教科における基礎・基本を身に付けることができる。
- 主体的に学習をしたり、考えたりすることがする態度を身に付けることができる。
- 友達や地域の人とのかかわりを楽しみながら、学びに前向きに向かうことができる。

何が身に付いたか

○各教科等の学習評価

- 友達や地域の人とのかかわりを楽しみながら学習した。

子ども達の実態

- 学校生活の流れを理解し、さくらっ子ルールを守って生活しようとしている。
- 学習活動への興味をもつ児童が多い。
- 思いや考え、経験を表現することにやや課題が見られる。

子ども達の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- 個々の特性を見取り、特別支援教育の視点を重視した学習環境づくりをする。
- 個々への支援を図り、生活や学習を落ち着いて取り組めるようにする。

目指す子ども達の姿

- 学び合いの中で、自分の思いや考えをもつ。
- 友達とのつながりを大切にしようとする。
- 課題解決に向けて、楽しんで取り組む。

何を学ぶか

○各教科等の教育課程の編成

- 各教科で明確にした資質・能力の基礎・基本を身に付ける。
- 一年間の学習の見通しをもち、校外学習や体験学習、出前授業を単元に関連づけて設定し、教科横断的な学習をする。
- 6年生とのなかよし活動（特別活動）で人と人のつながりを楽しむ。

どのように学ぶか

○各教科等の授業の実施

- 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善をする。
- 各単元の目指す姿を明確に提示し、子どもがゴールを意識した学習活動の充実を図る。
- 学校生活全般の「めあて→振り返る」の反復活動をする。

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 学年研での情報交換…学習内容の確認をしたり、教材を分担して準備したりし、学年での学びの充実を図る。
- 毎週の学級通信…学びの様子や学習内容について知らせる。
- 地域とのつながりづくり…地域や外部の人材を生かした教育活動に取り組む。 ○Y-P アセスメントの活用 ○懇談会等の内容の充実

各教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

- 安心して学校生活を楽しむことができる環境づくり ○発達段階や個々の特性に応じた学習環境の調整 ○汎用的な資質・能力の育成
- 地域について知り、地域とつながり、関わるができる学習や活動の充実 ○体験的な学習の重視 ○情報活用能力の育成